

東京工芸大学・風工学共同研究拠点・公開研究会（2014年2月18日）のご案内

「構造物の応答計測に関する現状について」

【主旨】

近年、コンピュータの発達とともに、建築・土木構造物の応答計測に基づくシステム同定は、様々な振動特性の評価を可能にし、推定手法もまた大きく発展しています。それに伴い、竣工した建築構造物と設計意図との合致の確認にとどまらず、建築構造物の性能評価、建築構造物の構造ヘルスマニタリングへの応用および構造制御における制御対象構造物の正確な振動特性の把握の有効な手段として、構造物の応答計測の重要度は、ますます増大しております。また、近年では、スマートセンサーなどの先端のセンサー技術との融合により、新たな展開も見せ始めています。そこで、本研究集会は、構造物の応答計測の実情と問題点を捉え、新しい計測技術を適用していく際の問題点を明らかにすることを目的として、開催することといたしました。ご関心のある方の参加をお願い申し上げます。

仁田佳宏（足利工業大学准教授）

吉田昭仁（東京工芸大学准教授）

開催日時：2014年2月18日（火）

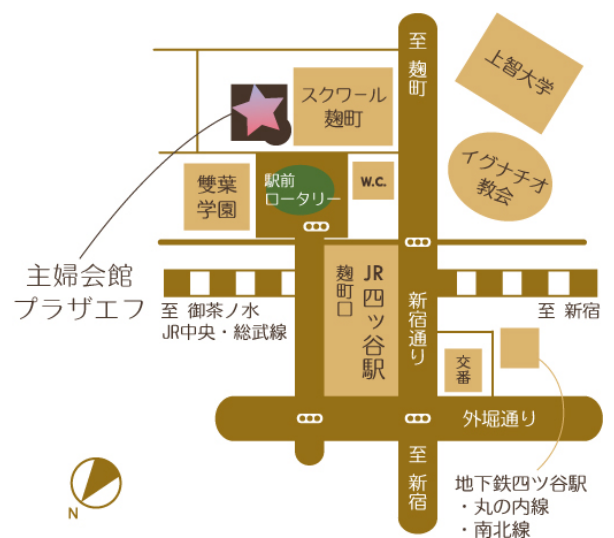
13:30～16:20

開催場所：主婦会館プラザエフ 8F パンジー

問合せ先：東京工芸大学 風工学研究拠点
共同利用・共同研究拠点事務局

TEL:046-242-9658(直通)

神奈川県厚木市飯山 1583



JR 四谷駅からの地図

プログラム

13:30～14:15 新しい技術を用いた構造物の応答計測
14:15～14:55 構造物モニタリング技術の開発と応用
14:55～15:35 鉄道総研における応答計測について
15:35～16:15 構造物の風応答計測と動特性の推定
16:15～16:20 まとめ

仁田佳宏（足利工業大学）
渡壁守正（戸田建設（株））
山田聖治（(公財)鉄道総合技術研究所）
吉田昭仁（東京工芸大学）
仁田佳宏（足利工業大学）